



Vol.37 夏号
発行
富山市民国際交流協会
広報委員会

〒930-0085 富山市丸の内1丁目4番50号
富山市国際交流センター(市図書館1階)内
TEL (076)442-1109 FAX (076)442-3807
発行責任者 広報委員会委員長 岡田昌代



5月18日 富山国際会議場

平成14年度 富山市民国際交流協会総会

協会設立10周年を記念して、会員1,000名達成運動を展開しましょう！

ボランティアで育てよう 富山市民国際交流協会



あいさつ

富山市民国際交流協会

会長 久保田 照雄

当協会は市民が主人公の国際交流の推進を目的とし、平成5年1月13日に設立以来、早いもので来年の1月で10周年を迎えようとしております。この間、多数の市民や会員の方々のご協力とご理解のもと地道ではありますが、着実に進んでまいりました。

これまで、在住外国人との各種イベントを通じての交流を始め、外国への友好訪問、講演会や国内の他協会訪問等による研修、外国人の日本語学習の支援、外国の文化や言語の理解などの事業に取り組んできております。

また、本年度は協会設立10周年を迎えますが、「市民による草の根交流」「ボランティアによる支援活動」という協会の趣旨を、これからもしっかりと認識し、活動を行ってまいりたいと考えておりますので、会員の皆様の一層の参加とご協力、関係者の方々の温かいご支援をお願い申し上げます。



祝辞

富山市長 森 雅志氏

富山市民国際交流協会は、地震被災地への救援・募金活動をはじめ、「姉妹友好都市などへの訪問団の派遣」、「ボランティア活動家の養成」や「国際交流フェスティバルの開催」

など、多彩な事業を展開されるとともに、合わせて、各会員におかれましては、草の根交流活動に取り組まれているところであります。

また、本日は、貴協会設立10周年記念事業として、「環境と国際協力」に関する基調講演やパネルディスカッションも開催されますが、貴協会のこうした積極的な姿勢は、本市が国際交流施策の推進を図る上で、誠に意義深いものであり、国際化時代の今日、このような活動の積み重ねが一層求められております。



祝辞

富山市議会議員 島田 祐三氏

近年の急速な国際化の進展は、国あるいは都市間の交流活動はもちろんですが、市民一人ひとりが直接ふれあい友情を育んでいく市民レベルの交流が大変重要になっております。

このような中、富山市民国際交流協会では、組織基盤の一層の強化と、市民レベルでの草の根交流が積極的に推進されておられますことは、誠に同慶のいたりと存じているところであります。

今後とも、広く市民の皆様方の協力のもとに市民主体の国際交流活動を活発に展開され、国際感覚豊かな人材の育成と国際化に対応したまちづくりの推進に一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

協会設立10周年を迎えて

協会の趣旨をしっかりと認識し さらなる発展を

- 平成14年度富山市民国際交流協会総会は、富山市長はじめ来賓のご出席をいただき、会員100余名が出席し開催されました。
- 会長あいさつ、来賓からの祝辞の後、総会次第により議事が進められ平成13年度事業報告、決算報告、平成14年度事業計画、収支予算が承認されました。
- 総会に引きつぎ富山市民国際交流協会設立10周年記念講演会「外交の窓in富山」が外務省と共催で行われました。基調講演、パネルディスカッションの後、名誉顧問も迎えて交流レセプションでは会員相互の親睦を深めました。

設立10周年記念講演会

外交の窓 in 富山

共催 外務省

基調講演

「21世紀の地球環境と国際協力」



講師 小池 寛治氏

政策研究大学院大学教授

(元地球環境問題担当大使)

私たちの将来の生活を脅かすといわれている地球環境問題は、先進国の急速な経済成長と世界人口の大半を占める途上国の双方から発した、20世紀最大の負の遺産です。しかも、この問題は国境を越え、発現者が特定できないところに困難さがあります。そこで、問題解決の一つとして、国際的な条約協定によるルール作りが有効ですが、各国の利害が絡み、さらに国内でも調整が必要なことから、交渉には多くの時間を要します。例えば、リオ会議から京都會議を経て、本年、ヨハネスブルクで総まとめをすることになっておりますが、各国の事情でCO₂の排出量の削減指標値をめぐり発効に向けて難航しています。

しかし、持続可能な社会を形成するには、化石燃料によるエネルギーの制限、産業界、民生部門を含めたCO₂排出量の削減、さらに循環型社会の創造を日本から発信することが重要です。

21世紀の人類の最大の課題－地球環境－について地球全体で協力し、一人ひとりが意識して知恵をしばって取り組んでいくことが大切です。

プロフィール

- ・昭和41年 東京大学法学部卒外務省入省
- ・平成5年 条約局審議官
- ・平成6年 防衛庁国際審議官
- ・平成8年 駐アラブ首長国連邦大使
- ・平成11年 地球環境問題担当大使
- ・平成12年 現職

「富山より地球環境を考える」



◇コーディネーター
岡本 博美 氏
外務省国内広報課
企画官

地球環境というグローバルな問題を国際的に解決するためには外交が重要な役割を果たします。今回のこの企画は、外交とは何か、また、活動内容を一般に理解してもらうための広報活動の一環です。



◇パネリスト
藤木 素士 氏
熊本県
環境センター館長
筑波大学名誉教授

地球温暖化による環境変化は、生態系をはじめとして、私たちの身近な生活にさまざまな影響を与えております。今後、人類が発展するためには官・民・NGOが一体となって環境問題に取り組むと同時に、環境に負荷を掛けない化学技術の発展も重要で鍵となります。



◇パネリスト
那須 民江 氏
名古屋大学大学院・
医学研究科・環境労働衛生学教授

医学的立場から、環境問題と健康について意見を述べました。20世紀の科学技術の発展は、多くの有害科学物質の排出によって人体に影響を及ぼしました。今後は、有害物を排出しないことが大切であり、地球的な課題を解決するには、まず身近な生活レベルでの行動が重要となります。

交流レセプション



正橋正一名誉顧問を迎え、島田祐三市議会議員の乾杯で会員相互の親睦を深めました。
国際会議場

総会議事

◆議案第1号 平成13年度事業報告

- ・国際交流フェスティバル2001
 - ・新春国際交流のつどい2002
 - ・青年招聘事業（国際協力事業団委託事業）
 - ・各専門委員会の事業
- などを報告

◆議案第2号 平成13年度決算報告

収入の部

(単位：円)

科 目	当初予算額 A	収入済額 B	増△減 B-A	備 考
1 会 費 収 入	2,660,000	2,732,265	72,265	
1 個人・家族会費	1,710,000	1,818,000	108,000	個人562名 家族23組
2 団体・法人会費	950,000	914,265	△ 35,735	60団体・企業 91口
2 事業費収入	890,000	821,000	△ 69,000	
1 総会懇親会費	210,000	258,000	48,000	3,000円×86名
2 2002年新春国際交流のつどい参加費	180,000	64,000	△116,000	日本人64名分
3 日本語講座受講料	150,000	150,000	0	5,000円×30名
4 中国語講座受講料	125,000	85,000	△ 40,000	5,000円×17名
5 ハングル講座受講料	75,000	150,000	75,000	5,000円×30名
6 翻訳手数料	150,000	114,000	△ 36,000	
3 補助金収入	9,810,000	9,431,216	△378,784	
1 事業補助金	3,334,000	3,110,000	△224,000	
2 外国人相談業務補助金	6,476,000	6,321,216	△154,784	給与基準変更(期末手当減額)等による
4 受託料収入	824,000	823,089	△ 911	
1 富山市受託料	824,000	823,089	△ 911	
5 寄 付 金	10,000	0	△ 10,000	
1 寄 付 金	10,000	0	△ 10,000	
6 雑 収 入	250,000	242,331	△ 7,669	
1 雑 収 入	250,000	242,331	△ 7,669	自動販売機収入、利息
7 繰 越 金	51,000	50,925	△ 75	
1 繰 越 金	51,000	50,925	△ 75	
合 計	14,495,000	14,100,826	△394,174	

支出の部

(単位：円)

科 目	当初予算額 A	支出済額 B	増△減 B-A	備 考
1 管 理 費	8,893,000	8,867,608	△ 25,392	
1 会 議 費	540,000	891,565	351,565	総会、理事会等
2 人 件 費	7,260,000	7,104,722	△155,278	職員 4 名
3 管 理 諸 費	1,093,000	871,321	△221,679	消耗品、電話料、印刷費、新聞代等
2 事 業 費	5,552,000	4,567,358	△984,642	
1 委員会合同事業	1,360,000	1,359,084	△ 916	国際交流フェスティバル、新春のつどい
2 総務企画事業	560,000	477,350	△ 82,650	国際フェア、国内研修、カレッジ等
3 姉妹友好都市交流事業	840,000	241,599	△598,401	海外研修、奨学金、訪問団歓迎会
4 文化交流事業	261,000	240,087	△ 20,913	日本伝統文化紹介、おわら囃子等
5 ボランティア事業	99,000	68,803	△ 30,197	養成講座、お城さん交流会
6 広報事業	995,000	968,350	△ 26,650	広報印刷・郵送料等
7 国際教養事業	413,000	307,385	△105,615	語学教養講座、JET青年との交流等
8 語学講座事業	1,024,000	904,700	△119,300	日本、中国、ハングル、日本語習得支援
3 予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
1 予 備 費	50,000	0	△ 50,000	
合 計	14,495,000	13,434,966	△1,060,034	

収入済額 14,100,826 円 - 支出済額 13,434,966 円 = 665,860 円 (翌年度繰越金)

監査報告書

平成13年度富山市民国際交流協会の決算について監査したところ、正確に処理されており、決算諸表、会計帳簿等も適正であると認めました。

平成14年4月16日

監 事 中 田 義 一 ㊞
監 事 小 川 し げ み ㊞

◆議案第3号 規約の改正

名誉顧問の設置、専門委員会の委員長及び副委員長の任期等の改正について次のとおり議決されました。

1. 名誉顧問を置くことができる。理事会の承認を経て会長が委嘱する。協会の運営に関し助言する。
2. 専門委員会の委員長及び副委員長の任期は、1期2年とし、3期を限度とする。平成14年4月1日以降に委員長に就任したものから適用する。

◆議案第4号 平成14年度事業計画

委員会合同事業

- ・10周年記念事業
と き 5月18日(土)
ところ 富山国際会議場
- ・国際交流フェスティバル2002
と き 9月21日(土)～22日(日)
ところ 富山市民プラザ・大手モール
- ・新春国際交流のつどい2003

総務企画委員会

- ・国内研修
- ・国際交流TCAカレッジの開催
- ・国際交流関係会議等への参加
- ・とやま国際フェアへの出展

姉妹友好都市委員会

- ・海外研修
- ・姉妹友好都市等の訪問団員との交流会
- ・友好親善奨学金の支給(秦皇島市)

文化交流委員会

- ・日本伝統文化等の紹介
- ・交流会(日帰り交流会・スポーツ交流会)
- ・もっと知ろう世界の街(世界の国と文化を訪ねる)

ボランティア委員会

- ・ボランティア養成講座
- ・外国人交流会(花見・ゆかた着付け・料理等)
- ・ホームステイ・ホームビジット
- ・ボランティア支援事業の協力

広報委員会

- ・当協会会報TCA-NEWSの発行
(4・7・10・1月一年4回)

国際教養委員会

- ・一般研修講座(13講座)
- ・JET青年との富山近郊の名所探訪・親善の集い
- ・外国人訪問団、行事等における通訳・ガイド協力

語学講座事業

- ・日本語講座、中国語講座、ハングル講座
- ・ボランティアによる日本語学習支援事業

その他

- ・外国人の相談業務
- ・翻訳・通訳
- ・交流事業への支援(紹介、派遣、資料提供等)

◆議案第5号 平成14年度収支予算

収 入

(単位: 千円)

科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	増△減 A-B	説 明
1. 会 費 収 入	2,970	2,660	310	
1. 個 人 会 費	1,970	1,710	260	3,000円×620名 5,000円×22名
2. 法人・団体会費	1,000	950	50	10,000円×100口 70団体・企業
2. 事業収入	710	890	△ 180	
1. 総会懇親会参加費	210	210	0	3,000円×70人
2. 新春国際交流のつどい参加費	0	180	△ 180	
3. 日本語講座受講料	150	150	0	5,000円×30人
4. 中国語講座受講料	125	125	0	5,000円×25人
5. ハングル講座受講料	75	75	0	5,000円×15人
6. 翻訳手数料	150	150	0	
3. 補助金収入	12,177	9,810	2,367	
1. 事業補助金	5,747	3,334	2,413	富山市事業補助金
(内インターネット分)	(1,677)	(0)	(1,677)	
2. 外国人相談業務補助金	6,430	6,476	△ 46	外国人相談業務(職員3名分)
4. 受託料収入	900	824	76	
1. 富山市受託料	900	824	76	夜間等業務受託料
5. 寄 付 金	10	10	0	
1. 寄 付 金	10	10	0	
6. 雑 収 入	250	250	0	
1. 雑 収 入	250	250	0	自動販売機手数料、預金利子
7. 繰 入 金	221	0	221	
1. 繰 入 金	221	0	221	JICA中国青年招聘事業協力団体諸費
8. 繰 越 金	665	51	614	
1. 繰 越 金	665	51	614	
収 入 合 計	17,903	14,495	3,408	

支 出

(単位: 千円)

科 目	予 算 額 A	前年度予算額 B	増△減 A-B	説 明
1. 管理費	9,150	8,893	257	
1. 会 議 費	606	540	66	総会費 546,000円 会場借上料 80,000円 講師謝礼等 50,000円 懇親会費(100人参加) 416,000円 理事会諸費 40,000円 専門委員会諸費 20,000円
2. 人 件 費	7,287	7,260	27	外国人相談員(常勤2名、非常勤1名) 給料・賃金・社会保険料 6,430,000円 夜間等業務員(非常勤1名) 賃金・労災保険料 857,000円
3. 管 理 諸 費	1,257	1,093	164	消耗品費(コピー代等) 371,000円 印刷製本費 228,000円 食 料 費 90,000円 郵便料等 100,000円 電 話 料 163,000円 旅 費 70,000円 新聞、図書購入費 172,000円 負担金、会費 35,000円 雑 費 28,000円 合 計 1,257,000円
2. 事業費	8,703	5,552	3,151	
1. 合同事業費	2,262	1,360	902	国際交流フェスティバル2002開催負担金 1,000,000円 新春国際交流のつどい開催費(120人参加) 180,000円 10周年記念事業 1,082,000円
2. 総務企画事業費	560	560	0	国内研修助成費(1泊2日) 10,000円×20人= 200,000円 国際交流関係研修会参加費(2回) 70,000円 国際交流TCAカレッジ開催費(講師謝礼等) 40,000円 とやま国際フェア出展費 250,000円 合 計 560,000円
3. 姉妹友好都市交流事業費	840	840	0	海外友好訪問助成費 参加予定25名 600,000円 姉妹友好都市訪問団歓迎会費 140,000円 秦皇島市友好親善奨学金 100,000円 合 計 840,000円
4. 文化交流事業費	260	261	△ 1	日本伝統文化紹介 162,000円 ・日本舞踊 20,000円 ・おわら節(講師謝礼等) 12,000円 ・富山まつり参加諸費(夜食等) 10,000円 ・茶 道(謝礼、材料費等) 36,000円 ・華 道(謝礼、材料費等) 34,000円 ・日帰り交流会 50,000円 ・もっと知ろう世界の街 20,000円 (2回、講師謝礼、資料等) 諸経費(郵便料、洗濯代等) 78,000円 合 計 260,000円

会員のみなさんへ〈会費納入〉のお願い

○会 費 1口 個人 3,000円 家族 5,000円 法人・団体 10,000円

○納入方法 ①当協会窓口 ②振込(北陸銀行富山市役所出張所 口座「富山市民国際交流協会」普通預金No.4076440)

(単位：千円)

科 目	予 算 A	前年度予算額 B	増△減 A-B	説 明
5. ボランティア事業費	99	99	0	ボランティア養成講座 講師謝礼 10,000円×2回=20,000円 外国人お嫁さん交流会開催諸費 72,000円 ボランティア支援事業諸費 7,000円 合 計 99,000円
6. 広報事業費	995	995	0	広報紙(TCA-NEWS)発行費 ・印刷費 182,000円×4回=728,000円 ・発行諸費(郵送料、取材諸費等) 267,000円
7. 国際教養事業費	413	413	0	講師謝礼等 ・国際教養合同講座(1回) 10,000円 ・ISA(2回) 20,000円 ・ロシア語講座(交通費) 2,000円×10回=20,000円 ・中国語講座 2,000円×24回×3人=144,000円 ・一般講座 3,000円×25回=75,000円 小 計 269,000円 JET青年との近郊探訪交流(外国人15人) ・貸切バス代 60,000円 ・昼食・入場料等 30,000円 ・国際教養サロンクラブ開催費(講師謝礼) 3,000円×8回=24,000円 8,000円×2回=16,000円 資料作成・消耗品等(11講座分) 14,000円
8. 語学講座事業費	1,024	1,024	0	講師謝礼等 ・日本語講座 5,000円×36回×2クラス=360,000円 ・中国語講座 7,000円×36回=252,000円 ・ハンガリー語講座 7,000円×36回=252,000円 ・日本語学習支援事業 160,000円 ・ボランティア交通費 300円×40回×10人=120,000円 教材費等 40,000円 合 計 1,024,000円
9. インターネット導入 支援事業費	2,250	0	2,250	ホームページ作成委託費 1,713,000円 周辺機器整備費 337,000円 維持管理費 200,000円
3. 予 備 費	50	50	0	
1. 予 備 費	50	50	0	
支 出 合 計	17,903	14,495	3,408	

◆議案第6号 理事の選任について

協会規約第8条により次の者を理事に選任する

富山市民国際交流協会役員名簿

2002. 5. 1 現在

役職名	氏 名	所属団体及び役員名
名誉顧問	正橋 正一	前富山市長
会 長	久保田照雄	富山商工会議所顧問
副会長	小川 弘	富山市監査委員
“	水口昭一郎	富山市民の翼の会会長・立山科学工業㈱取締役社長
“	吉友嘉久子	第1回富山市婦人海外派遣団団長
理 事	大崎 和紀	富士メリヤス(株)取締役社長
“	奥井 健	富山冷蔵(株)取締役社長
“	辻 雅寛	富山市民の翼の会会長
“	山崎佐和子	富山商工会議所女性会会長
“	西野 尚典	(株)不二越 総務部長
“	新田 八朗	日本海ガス(株)取締役社長
“	小又 幸進	北陸電力(株)取締役富山支店長
“	塩澤 和章	富山大学副学長
“	橋本 敏宏	日伯親善富山市民の翼の会会長・サクラバックス(株)取締役社長
“	岩城 俊平	富山市民中学校長会会長
“	堀江 耕一	堀江硝子(株)取締役社長
“	加納 豊	富山商工会議所青年部会長
“	野入 潤	富山市民美術作家連合会事務局長
“	大泉美登子	富山市民女性団体等連絡協議会会長
“	横田 茂	富山県青年海外協力隊を育てる会名誉会長
“	鷲本喜久子	ウイメンズ ウイング トヤマ会長
“	北東 俊夫	富山市民国際交流協会総務企画委員長
“	梅澤 信義	“ 姉妹友好都市委員長
“	藤永 滋	“ 文化交流委員長
“	姜 慶淑	“ ボランティア委員長
“	岡田 昌代	“ 広報委員長
“	神保 正	“ 国際教養委員長
監 事	小川しげみ	(株)富山YMCA常議員
“	中田 義一	富山市民社会福祉協議会元専務理事
参 与	松岡 一	富山市民国際交流協会元事務局長
“	小川 光夫	富山市民国際交流協会元事務局長

以上 平成14年度富山市民国際交流協会総会要旨。
なお、総会の資料は協会事務局にあります。

お知らせひろば

お申し込み・お問合せは当協会まで
TEL 442-1109 FAX 442-3807

日本伝統文化の体験・交流

文化交流委員会

富山の民謡交流会	7月7日(日) 13:30	当センター
越中おわら踊り	7月14日(日) 13:30	当センター
ガラス工芸体験	7月20日21日27日28日	富山ガラス工房
富山まつりおわら踊り	8月3日(土) 17:00	城址大通り
スポーツ交流会	9月29日(日) 13:30	富山市体育センター

海外研修

姉妹友好都市委員会

- ・と き 10月12日(土)～10月19日(土)
- ・ところ 中国(北京、秦皇島、大連、瀋陽、旅順)
- ・旅 費 200,000円予定
- ・申込み 8月15日(木)まで(20名程度)

国内研修

総務企画委員会

- ・と き 11月9日(土)～10日(日)
- ・ところ 武蔵野市国際交流協会・(株)三鷹国際交流協会

多国言語文化交流クラス

国際教養委員会

ウルドゥー語(パキスタン)	7月6日(土) 10:00	当センター
アラビア語(サウジアラビア)	8月3日(土) 10:00	当センター

JET青年名所探訪

国際教養委員会

- ・と き 9月28日(土) 8:30～17:00
- ・ところ 五百羅漢 長慶寺(座禅体験)など
- ・参加者 JET青年及び英語を解する外国人

家族レクリエーション

ボランティア委員会

- ・と き 10月5日(土)
- ・ところ グリーンパーク吉峰

古切手・ハガキ・テレホンカードの回収 ボランティア委員会

- ・8月末日までに協会に持って来て下さい
- ユニセフなどを通じて、開発途上国等支援活動の資金とするために
行っております。

「国際交流フェスティバル2002」開催

- ・と き 9月21日(土)～22日(日)
- ・ところ 富山市民プラザ・大手モール
- ※ボランティア募集中
- 「国際交流フェスティバル2002」の実行委員を募集しております。
外国人スタッフらと協力しながら、一緒に楽しい実りあるイベントを
作り上げましょう。

日本語ボランティア研修セミナー

- ・と き 7月13日(土) 13:00～15:00
- ・ところ 当センター
- ・講 師 富山国際大学助教授 田中 道治 氏

日本語夏期集中講座 外国人対象

- ・と き 8月27日(火)～31日(土)
10:00～12:30 13:30～15:00
- ・ところ 当センター
- ・受講料 1,000円

平成14年度 第5回 日本語ボランティア登録者研修会

- ・と き 9月14日(土) 13:00～15:00
- ・ところ 当センター

委員会報告

国際教養委員会

合同公開講座(日本語教授法)

富山市民国際交流協会・富山国際大学コミュニティカレッジ
「日本語教授法の歴史的変遷とその背景理論」



講師 田中 道治氏
(富山国際大学助教授)

4月27日
当センター

この講座は、富山国際大学が地域社会へ貢献する活動(公開講座)の一環として、富山市民国際交流協会の日本語ボランティア制度を支援することを目的に行なわれております。

平成14年4月から7月までの第4土曜日 10:30~12:00 無料

多国言語文化交流クラス

当センター

第21回 ミャンマー語(ミャンマー連邦) 4月6日

講師 ミン ミン タン氏、ティン ザオ リン氏(富山医薬大留学生)

ミャンマーは、人口の85%が仏教徒で、各家では朝4時に起きて仏壇にお祈りすることからはじまり生活のリズムが仏教の上にある。

そして、135もの言語が存在することを知りました。

第22回 ベトナム語(ベトナム社会主義共和国) 6月1日

講師 ゲン タン ダン氏(富山国際学院で日本語勉強中)



ベトナム社会主義共和国は、南北に細長いS字型の国である。53の少数民族からなる多民族国家で異民族との結婚は国際結婚のようなもの…など。

ベトナム語は、声調が6つある(六声)、人称代名詞の2人称・3人称(単数・複数)は、相手の性別・年齢・身分によって相対的に使い分けるなど少し複雑である。

また、ベトナム料理の「生春巻」は、日本でもよく知られている。

「英語スピーチと討論(ESD)」クラス

4月特別例会 4月16日 18:30~20:00
テーマ 「バイリンガルの子どもの言語使用と発達について」
スピーカー 高木美也子氏(言語学研究者, Ph. D)

5月特別例会 5月21日 18:30~20:00
テーマ 「バラ その魅力と栽培」
スピーカー 若林 守光氏(電子部品技術者, 県バラ会会長)

6月特別例会 6月18日 18:30~20:00
テーマ 「夏のピーク電力対策」
スピーカー 門野康弘氏(ESD会員, 会社員)

スピーチ・座談・質疑討論などすべて英語で行なわれました。

文化交流委員会

日帰り交流会

「いこいの村富山」と「ねいの里」 5月26日



晴天下のもとで自然を満喫しながら散歩やスポーツで楽しみました。

木陰でお弁当を食べながら話合ったり、ビーチボールやハンカチ落とし

ゲームで心地よい汗を流して「気持ちが良かった」と交流しました。

もっと知ろう世界の街

「アンニョンハセヨ」韓国

6月9日
当センター



「2002FIFAワールドカップ」の開催などで、韓国と日本の親密さが、より深まっていることから韓国の文化や最近の事情を、金文姫さん(韓国大邱市出身)から

学びました。「人参茶」や「紅参飴」も味わいました。

座 禅

6月23日
蓮華寺(富山市梅沢町)

チェコ、コンゴ、パキスタン、インドなど出身の参加者たちは、座禅と説法を体験しました。

お花見交流会

4月4日
松川ベリ



中国や韓国、アメリカなど出身の富山在住の外国の人たちと満開の桜の下で交流しました。初めて桜を見たという参加者もあり、お弁当を食べながら自己紹介したり、親子でゲームを楽しんだりしました。

ゆかたの着付け教室

6月27日
当センター

日本の「浴衣」を体験。
日本の文化・習慣への理解を深めました。

ボランティア委員会

5月18日、平成14年度富山市民国際交流協会総会は、協会設立10周年記念講演、交流レセプションと続けて滞りなく行なわれました。

富山市民国際交流協会は、市民ボランティア一人ひとりが主役・草の根からの国際親善・創意と工夫・そして、国際交流活動のネットワークの中心的機関として定着させていきたいと、平成5年1月13日に設立され10年目を迎えました。

交流レセプションで基調講演の講師 小池寛治氏とお話する機会に恵れ、名刺を交わさせていただきました。同氏は名刺に「TOYAMA COSMOPOLITAN ASSOCIATION」と印してあるのを見て「富山市民国際交流協会は富山の次に世界となっているのですね、『富山市民の世界…』ではなく『富山の世界市民…』と大きな思い入れでのごステキな会ですね…」と。そんなことを話しながら「いつも富山市民とは、外国人住民も含んでの総称であらいたい」と、あたりまえのことをあらためて、心つぶやきました。

国際化と云われて久しくなりますが、真の国際化はほんとうに進んで来ているのでしょうか。

富山市民国際交流協会の活動が、お祭的な一過性のイベント型活動ばかりでなく、いつも市民一人ひとりが主体的に継続的に心から取り組んで、共に暮らしやすい地域づくりをめざし、そして、世界平和への祈りを込めた活動が広がることが願っています。

広報委員長 岡田昌代

編集後記